

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市蘇我スポーツ公園スポーツ施設
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	・市におけるスポーツ、レクリエーションの振興を図り、市民の健康、体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指す。(平成29年6月設定)
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・市民の誰もが、日常的に利用でき、それぞれの目的に応じたスポーツを楽しめる場を提供する。 ・日頃、スポーツ活動の機会に恵まれない市民やスポーツ初心者、レベルアップを志向する市民に対して、各種スポーツ教室等の場を提供する。 ・地域や区のスポーツ大会やイベントの開催場所を提供する。 ・災害時に各施設の機能が発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築する。(平成29年6月設定)
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、利用者サービスの向上及び管理経費の削減の効果を見込んでいます。
成果指標※	① 利用者数(選定時は未設定) ② 稼働率(選定時は未設定)
数値目標※	① 選定時は未設定 ② 選定時は未設定
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	MMT 共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	(代表) 株式会社千葉マリスタジアム 日本メックス株式会社 東洋グリーン株式会社
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市美浜区高浜4丁目12番2号
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)
選定方法	公募
非公募理由	—
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率※
利用者数(選定時は未設定)	選定時は未設定	678,098	—
稼働率(選定時は未設定)	選定時は未設定	フクダ電子アリーナ: 34.8% フクダ電子スクエア: 58.3% フクダ電子ヒルコート: 66.1% フクダ電子フィールド: 64.9% フクダ電子グラウンド北: 29.1%	—

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H30年度実績
選定時は未設定	—
選定時は未設定	—

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	147,110	145,500	実績－計画	0	
	計画	147,110	145,500	計画－提案	△ 1	
	提案	147,111	149,130			
利用料金収入	実績	108,114	117,267	実績－計画	3,782	音楽フェス誘致等による増
	計画	104,332	96,653	計画－提案	9,346	音楽フェス誘致等による増
	提案	94,986	92,967			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	255,224	262,767	実績－計画	3,782	
	計画	251,442	242,153	計画－提案	9,345	
	提案	242,097	242,097			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	107,672	108,258	実績－計画	4,912	音楽フェス誘致による業務増による
	計画	102,760	96,695	計画－提案	△ 7,314	時間外業務の削減を計画したことによる減
	提案	110,074	110,074			
事務費	実績	63,605	68,972	実績－計画	△ 28,111	事務費全般の経費削減
	計画	91,716	85,026	計画－提案	12,398	施設改修等における再生水等使用料増大
	提案	79,318	79,318			
管理費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
委託費	実績	102,051	98,100	実績－計画	45,085	音楽フェス誘致による業務増による
	計画	56,966	60,432	計画－提案	△ 2,816	自主での作業等強化を図ったことによる
	提案	59,782	59,782			
その他事業費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
間接費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	273,328	275,330	実績－計画	21,886	
	計画	251,442	242,153	計画－提案	2,268	
	提案	249,174	249,174			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		H30年度	【参考】 H29年度
自主事業収入	実績	129,898	130,890
その他収入	実績	0	0
合計	実績	129,898	130,890

イ 支出

(単位：千円)

費 目		H30年度	【参考】 H29年度
人件費	実績	10,826	10,211
事務費	実績	1,636	178
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	9,731	11,236
事業費	実績	59,484	60,388
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	81,677	82,013

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H30年度	【参考】H29年度
必須業務	収入合計	255,224	262,767
	支出合計	273,328	275,330
	収 支	△ 18,104	△ 12,563
自主事業	収入合計	129,898	130,890
	支出合計	81,677	82,013
	収 支	48,221	48,877
総収入		385,122	393,657
総支出		355,005	357,343
収 支		30,117	36,314
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数 (選定時は目標未設定)		H30:678,098人 (H29:712,865人, H28:643,131人, H27:600,6
稼働率 (選定時は目標未設定)		フクダ電子アリーナ H30:34.8%(H29:38.5%, H28:35.8%, H27:36.9%) フクダ電子スクエア H30:58.3%(H29:57.4%, H28:60.6%, H27:66.4%) フクダ電子ヒルスコート H30:66.1%(H29:65.0%, H28:66.2%, H27:63.0%) フクダ電子フィールド H30:64.9%(H29:63.6%, H28:62.1%, H27:39.9%) フクダ電子グラウンド北 H30:29.1%(H29:21.6%, H28:20.5%, H27:22.3%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 ー：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	市民の平等利用の確保	B	C	(M) 共同事業体の資源を効率よく活用し、施設価値を最大限に高め、市民平等利用を促進し、自主事業においては「市民サービスの向上」「地域の活性化」に大きく貢献した。
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力				
(1) 人的組織体制の充実	管理運営の執行体制	B	B	(M) 適正な人員配置、また専門職員による業務運営など連携した組織体制作りができた。
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	施設の保守管理	B	B	(M) 来場者からのアンケート調査を基に、自主での迅速な施設、設備修繕に積極的に取り組むと共に、計画的な保守委託業務を遂行した。
	設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮				
(1) 幅広い施設利用の確保	開館時間・休館日	B	B	(M) 65歳以上の団体、また障がい者利用においては、減免利用にて受入を率先的にを行い、時間外、休日利用の貸し出しも行った。
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	利用者への支援	C	B	(M) 日除けテント、簡易椅子の貸し出しをおこなった。また、夏場における熱中症対策（飲料販売、製氷のサービスなど）を行った。
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	施設の事業の効果的な実施	B	B	(M) Jリーグ開催ならびに音楽フェスティバル等、自主イベントなどで飲食売店等創意工夫をし、積極的に展開をした。
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	(M) 概ね水準どうりの運営ができていている。事業体の構成企業各社が、働き方改革を意識した職員の雇用の安定化等への配慮を促した。
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			
	大規模災害時の対応			
	特別提案			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たして管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
	○年度	
	○年度	

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	<フクダ電子アリーナ> 調査方法：アンケート用紙を配布し回答記入後に回収 回答者数：1,809件（合計4回） 質問項目：性別、年齢、住まい、来場方法、HP・twitter、売店等、音楽イベント関係等
	回答者数	<フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子グラウンド> 調査方法：管理棟にアンケート用紙・回収BOXを常設 回答者数：435件（スクエア・フィールド・グラウンド共通） 質問項目：性別・年齢層・住まい・来場目的・接客サービス・清掃状況・満足度・利用料金など
	質問項目	<フクダ電子ヒルスコート> 調査方法：管理棟にアンケート用紙・回収BOXを常設 回答者数：250件 質問項目：性別・年齢層・住まい・来場目的・接客サービス・利用料金など
結果	<フクダ電子アリーナ> ・回答者の約55%が男性。 ・住まいは、千葉市内と隣接市（市原市）が多い。ひまわりフェスティバルは84%が千葉市内。 ・自動車・電車での来場が多い。Jリーグは公園駐車場と臨時駐車場を利用している。 （意見） ・トイレにウォシュレット設置してほしい。数を増やしてほしい。手洗い場の水量が多い。 ・受動喫煙に関する意見が多くなってきている。 ・電子マネー導入の要望。Wi-Fi。売店に関する要望。 ・Jリーグ時の再入場の希望。	
	<フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子グラウンド> ・回答者の約78%が男性。 ・千葉市内在住が約半分。中央区内在住が25%強。 （意見） ・フクダ電子スクエアの人工芝に関する意見・要望。 ・更衣室が狭い。シャワーやロッカーを無料に。 ・管理棟内でスパイクを脱ぐのが面倒。 ・小学生サッカー（8人制）のラインに関する要望。 ・アップスペースに関する要望。 ・フクダ電子グラウンドでの、トイレや水道に関する要望。 ・ジェフとのコラボイベント、交流イベント。 ・ソサイチ（7人制サッカー）。	
	<フクダ電子ヒルスコート> ・回答者の男女比はほぼ半々 ・10歳代から70歳代以上まで幅広い年齢層が利用。 ・半数以上が千葉市内在住。 ・一般利用と大会利用は半々。 （意見） ・利用料金が安い。 ・駐車場料金が安い。出入り口が少ない。 ・雨風や暑さ、日除けに関する意見。防風林や緑陰の整備。 ・飲み水、冷水器への意見・要望。 ・大会利用が多い。抽選で取れない。 ・トイレの水が流れない。手の乾燥機、ウォシュレットの要望。	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
フクダ電子アリーナのトイレ手洗い場の水が強すぎる	SNSを活用したアンケートを実施し、それに基づき改善した。
スクエア管理棟内でのスパイク歩行について。	靴の上から履けるスリッパの導入を検討。
フクダ電子スクエア人工芝に関する苦情・要望。	令和2年度に、千葉市にて人工芝張替を予定。
フクダ電子ヒルスコート人工芝の張替。	部分的な補修を実施。張替は千葉市と協議。
フクダ電子ヒルスコートのトイレが流れない。	千葉市で受水槽を設置。H31.2より使用開始し、問題は解消した。
駐車場の出入口について。	大会やイベント時には、臨時出口を設置したり、手集金による精算の時間短縮を図っている。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	B	所見	指定管理4年目であり、安全で快適な施設の貸出し、運営においては問題なく遂行できた。また、特別提案であった大型コンサート実施においては、蘇我スポーツ公園での2回目の開催となるJAPAN JAM 2018が大きな成果をあげている。開催することで地域との連携強化が大いに図れたこと、蘇我スポーツ公園スポーツ施設のPRが広く出来た事、さらにはジェフ千葉ともフェスティバル開催にタイアップでき、プロ（アマチュア以外）とアマチュアとの関係強化が図れたこと、更には一昨年度砂埃対策の対応では、千葉市、指定管理者、利用者、主催運営する企業が一体となり早急な打開策に取組み、来場者をはじめ、地域の方々にも快適な施設に変貌を遂げたことは、施設を今後管理運営していく上において、大きな財産となったことを確信している。
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	B	所見	指定管理4年目は、フクダ電子グラウンドの天然芝張、フクダ電子アリーナの天然芝張替があり、施設利用やフィールド等維持管理において変則的な状況となった。芝張りが完了し引渡しされたあとは、フィールドの管理に尽力し、両施設とも非常に良好な状態を維持している。個別修繕にて、フクダ電子ヒルスコートの人工芝一部張替を行ない、施設環境の向上に貢献した。2回目となった音楽フェス（JAPAN JAM 2018）では、地域との連携、ジェフとの協力などに尽力し、イベントにおいては大きな成果をあげた。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

(ア) 市による評価のとおり優れた管理運営が行われていると認められる。今後も継続して、利用者からの意見等を丁寧に聞き、更に市民にとって、より良い施設となるよう管理運営を行っていただきたい。 (イ) 大規模なイベントの開催に伴う利用者数の増加だけでなく、通常の利用者数を増加させるため、特に、稼働率の低い平日の利用に関し、地域貢献の観点から無料での施設利用やスポーツに限定しない施設利用などを検討するとともに、近隣の保育園や小学校などへ声掛けするなど、地域の方々に喜んでもらえる施設づくりに取り組んでいただきたい。 (ウ) 指定管理者だけでは対応できない更衣室やトイレ等の設備、施設そのものの改修については、市で対応をお願いしたい。 (エ) イベントでの利用、通常の利用ともに、市で定めたビジョン（施設の目的・目指すべき方向性）、ミッション（施設の社会的使命や役割）を踏まえて対応していただきたい。
--